

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	図書館維持管理事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館	図書館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		管理係

1. 事業の概要(Plan)

目的	図書館利用者の安全と衛生を確保し、便利で快適に図書館を利用できるようにする。				
内容	施設の修繕及び保守点検並びに館内の清掃、衛生管理を行う。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	冷暖房空調保守点検回数	図書館が委託する冷房保守点検の回数			目標	2	2	2	回
					実績	2	2		
成果指標	指標名	説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	館内外からの衛生・美化に関する苦情	館内・敷地内の衛生・美化に関する市民からの苦情を受けた件数			目標	0	0	0	回
					実績	0	0		
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費	
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額
総事業費	38,241		38,528		55,341		45,340		43,640
	事業経費		32,501		30,738		47,551		37,550
	37,550		35,850		200		200		200
	特定財源		176		224		200		0.95
	従事常勤職員数		0.70		0.95		0.95		0.00
	従事非常勤職員数		0.00		0.00		0.00		7,790
概算人件費		5,740		7,790		7,790		7,790	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	施設全体の経年劣化が進んでいるため、定期的な施設点検を行い、維持管理に取組む必要がある。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	アウトソーシング可能	適切な管理を必要とするため、政策的意思決定に沿っていれば可能。
	有効性	指標の実績	達成できた	想定どおりのサービスを提供できた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	なくてはならない事業のため。	
	事業の方針	見直しを検討	包括管理の導入をすすめている	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	開館から24年が経過し、経年劣化による施設の修繕が増える傾向にあるので、計画的な設備の更新が必要である。公共施設等マネジメント実施計画に沿って長寿命化を図り、施設の維持補修を実施する。
今後の取組み	適正な施設の点検及び修繕を行うことにより、安全と衛生の質を落とさず、快適な空間として図書館を利用できるようにする、施設の状況を随時把握し適切なケアができるように施設管理業務をアウトソースできる包括管理の導入を推進していく。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	図書館協議会運営						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館	図書館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに					管理係

1. 事業の概要(Plan)

目的	図書館法第13条の規定に基づき、館長の諮問に応ずるとともに図書館サービス等について館長に対して意見を述べる。				
内容	委嘱した10名の委員からなる図書館協議会を開催する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	開催回数	1年間に開催した図書館協議会の回数	目標	2	2	2	回			
			実績	2	2					
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	協議会出席者	図書館協議会に参加した委員の延べ人数	目標	20	20	20	人			
			実績	17	14					
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	1,555		1,545		1,564		1,564		1,564	
事業経費	79		69		88		88		88	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.18		0.18		0.18		0.18		0.18	
従事非常勤職員数	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
概算人件費	1,476		1,476		1,476		1,476		1,476	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1)事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	図書館運営の根幹をなすものである
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	市が推進すべき	政策的意思決定を必要とするため。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	想定どおりのサービスを提供できた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標をほぼ達成できた	
	手段の妥当性	妥当	なくてはならない事業のため	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2)事業の方向性(Action)

現状の課題	適切な時期に協議会を開催し、多くの意見をいただくことが課題である。
今後の取組み	年2回のペースで協議会を開催し、図書館運営に対して委員からの提言を取り入れ、安全で快適な学習空間を利用者に提供できるように努める。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	映画会開催事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館	図書館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに					管理係

1. 事業の概要(Plan)

目的	映画会を開催することで図書館に来館する機会を作り、来館者の増につなげる。				
内容	子ども映画会及び大人対象の映画会である図書館映画を開催する。ポスターやお知らせ版にて周知する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	映画会開催回数	年間に子ども映画会及び図書館映画会を開催した回数	目標			24	15	15	回	
			実績			27	16			
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	映画会入場者数	子ども映画会及び図書館映画会入場者数	目標			360	230	230	人	
			実績			389	249			
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	2,254		2,094		2,200		2,200		2,200	
	事業経費		364		204		310		310	
	特定財源		0		0		0		0	
	従事常勤職員数		0.15		0.15		0.15		0.15	
	従事非常勤職員数		0.20		0.20		0.20		0.20	
	概算人件費		1,890		1,890		1,890		1,890	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	多くの市民に図書館に親しんでもらい、来館者を増やすことにより、利用率が高められる
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない
		主体の妥当性	市が推進すべき	イベントの委託は可能だが、著作権の関係もあり市が推進すべき
	有効性	指標の実績	達成できた	実施回数及び入場者が目標を上回り来館者増に繋がった
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で目標の指標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	図書館来館の切っ掛けになる。	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	著作権や予算の関係で上映作品に限られる中で、新たな入場者の確保につなげられるようなPR方法や作品の選定が課題である。また、様々なコンテンツにより映画に触れる機会が増えたことに伴い、常に図書館映画会のニーズを把握し適切な開催時期や回数を検討していく必要がある。
今後の取組み	市民の興味を引く作品を選定して映画会を開催することで、図書館そのものの利用者増に繋げていく。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	資料選定購入事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館	図書館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに					サービス係

1. 事業の概要(Plan)

目的	市民の教養、調査研究に応えるため、資料を選定購入し、利用に供することにより、教育文化の向上を図る。				
内容	下妻市立図書館資料収集方針及び図書館資料収集計画(年次作成)に基づき資料を選定購入し、市民の利用に供する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	新刊案内、展示会等による選定と回数	新刊案内等による選定本および展示会等における見計らいによる選定回数			目標	50	50	50	回
					実績	55	52		
成果指標	指標名	説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	図書館資料点数	所蔵されている資料点数			目標	219,000	225,000	230,000	点
					実績	222,008	226,118		
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費	
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額
総事業費	19,007		17,698		17,622		17,648		7,647
事業経費	10,037		10,128		10,052		10,078		77
特定財源	105		108		116		101		101
従事常勤職員数	0.45		0.40		0.40		0.40		0.40
従事非常勤職員数	1.60		1.30		1.30		1.30		1.30
概算人件費	8,970		7,570		7,570		7,570		7,570

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	社会情勢の変化にかかわらず、恒久的なものである
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門的知識と継続的なサービスを提供する必要がある
	有効性	指標の実績	達成できた	指標目標のとおり提供できた
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた	
	手段の妥当性	妥当	専門知識あ必要かつ効率が良い	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	購入から20年以上が経過し、状態が悪い資料や修理回数の多い資料のうち、利用者のニーズが高い資料の買替が必要である。
今後の取組み	新刊案内や展示会を利用しつつ、資料に対する幅広い知識と情報を得るとともに、利用者ニーズを的確に把握し、よりよい資料を選定し蔵書とする。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)										教育部	
事務事業名		蔵書管理事業								図書館	
総合計画の体系		目標	2. 教育、文化		基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ		分野	5. 図書館		サービス係
SDGs目標		4	質の高い教育をみんなに								

1. 事業の概要(Plan)

目的	計画的に蔵書を管理し、利用者の要求に対し、適切な資料を提供することにより、教育と文化の向上を図る。				
内容	資料の修理・装備により良好な資料状態を維持し、書架整理・蔵書点検でより適切な資料の提供を行う。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	蔵書数		蔵書点検時の資料所蔵数	目標		219,000	225,000	230,000	点	
				実績		222,008	226,118			
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	蔵書点検対象数		蔵書目録と蔵書を照合(年1回)	目標		217,000	224,000	227,000	点	
				実績		217,323	224,516			
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	11,699		9,537		9,920		9,920		9,920	
事業経費	929		987		1,370		1,370		1,370	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.75		0.60		0.60		0.60		0.60	
従事非常勤職員数	1.40		1.10		1.10		1.10		1.10	
概算人件費	10,770		8,550		8,550		8,550		8,550	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	図書館運営の根幹をなすものである。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門知識と継続的なサービスが必要である。
	有効性	指標の実績	達成できた	想定どおりのサービスが提供できている。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	専門的知識が必要、かつ効率が良い。	
	事業の方針	継続	現状維持。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	蔵書点検を実施するにあたり、2週間程度の休館を要しているが、所蔵資料数が増えるに従い、蔵書点検対象数も増えることから、計画的・効率的な作業が求められる。図書館ボランティアの協力を得つつ実施しているが、作業日数が不足する恐れがある。
今後の取組み	スムーズな蔵書点検を実施するため、日常的な書架整理により資料の所在を明確にしておく。また、資料修理や書架整理において、図書館ボランティアの協力は不可欠であるため、良好な関係を維持する。



令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	利用者サービス事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館	図書館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに					サービス係

1. 事業の概要(Plan)

目的	資料の貸出・返却・読書相談等に応じ、利用者の読書欲を満たし、利用者の増を図る。				
内容	貸出・返却を迅速かつ適切に行い、未所蔵資料について、相談に応じ、他館との相互貸借により提供する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	利用者数		図書館来館者数			目標	130,000	135,000	133,000	人
						実績	133,742	112,436		
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	貸出点数		図書、CD・DVD等の貸出点数			目標	200,000	200,000	200,000	点
						実績	187,478	181,543		
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	12,099		24,613		24,507		24,345		31,790	
事業経費	6,369		9,209		9,103		8,941		16,386	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.57		0.47		0.47		0.47		0.47	
従事非常勤職員数	0.32		3.50		3.50		3.50		3.50	
概算人件費	5,730		15,404		15,404		15,404		15,404	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	社会情勢の変化に関わらず、恒久的なものである。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門的な知識及び継続的なサービスが必要であるため。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	コロナの5類移行に伴い、お家時間が少なくなったことによると推量する。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小経費で指標目標をほぼ達成している。	
	手段の妥当性	妥当	専門的知識が必要かつ効率がよい。	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	貸出数は減少傾向にあり、月別にみると微減傾向にある。登録者数は増えているものの、児童は100人弱の減少がみられ、人口減が影響していると思われる。しかしながら、来館者は増加傾向(5月期においては人数カウント機器不具合につき減)にあり、館内で読書する利用者が増え、館内滞留時間も増加している。
今後の取組み	来館者の増加傾向を維持しながら、貸出数の増を図り、利用者目線でのカウンター(窓口)対応、資料配架、館内整備を行い、居心地のよい空間をつくる。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	読書活動推進事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館	図書館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに					サービス係

1. 事業の概要(Plan)

目的	おはなし会やイベント、特集企画展示等により、利用者の読書意欲を高める。				
内容	季節や時事にあわせた選書やイベントを開催し、利用者の定期利用を図る。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	特集企画展示の回数	テーマ別の特集展示企画数 期間: 1～2か月	目標			12	35	60	回	
			実績			32	74			
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	よむよむキャンペーン参加者数	借りた冊数や内容が目で見ることが できるスタンプラリー(どくしよで BINGO、読書マラソン)を実施	目標			400	450	500	人	
			実績			630	667			
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	3,146		6,177		6,180		6,180		6,180	
事業経費	96		87		90		90		90	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.05		0.30		0.30		0.30		0.30	
従事非常勤職員数	0.80		1.10		1.10		1.10		1.10	
概算人件費	3,050		6,090		6,090		6,090		6,090	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	テーマごとの提供が本選書の助けとなり、イベントとの相乗効果が発生している
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門的知識を必要とするため
	有効性	指標の実績	達成できた	想定以上の参加者数となった
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果	効果あり	最小経費で指標目標を達成できた	
	手段の妥当性	妥当	ゲーム性を取り入れたことで資料の利用率が高められた	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	季節や時事関連や毎年恒例のテーマであっても、選書や見せ方を工夫した特集展示を展開している。特集展示については、子ども向け、大人向けと実施しているが、イベント企画について、子ども向けの内容が多くなりがちである。
今後の取組み	特集展示のテーマを深掘りし、魅力的な選書となるよう、職員の質向上を図るとともに、大人(家族)向けのイベントなどを展開し、利用者の読書欲向上を図る。